

年 組 名前:

二酸化炭素吸収し、水を育む



山々に囲まれた山梨県。森林は豊かな水を育んでくれます
—早川町上空（山日YBSヘリ「ニュースカイ」から空撮）

日本一高い山といえは、富士山です。山梨県は、富士山を筆頭に、南アルプスや八ヶ岳などたくさん高い山々に囲まれています。県全体の面積に対して森林が占める割合は77.8%で、全国3位です。

総務省統計局の「統計でみる都道府県のすがた2021」によると、1位は高知県で83.3%、2位は岐阜県で79.0%。ちなみに、日本全体では65.5%となっていて、国土の約3分の2が森林に覆われています。日本は世界でも有数の森林国です。

山梨県の森林はどのくらいあるのでしょうか。県の林政総務課に聞きました。県の総面積は44万6527㍓で、そのうち森林の面積は34万7498㍓（森林比率77.8%）に上ります。

森林には、二つのタイプがあります。一つは自然の力で発芽して育った「天然林」。もう一つは、人の手で苗木を植えて育てた「人工林」です。県内では、天然林が人工林より少し多いそうです。

昭和時代の初めころ、戦争で大量の木材が必要となり多くの天然林が伐採されました。戦後は壊れた建物を造り直すために伐採され、森林は大きく荒れ果ててしまいました。そのため、植樹による人工林が積極的に整備され、今その時に植えられた樹木が50年以上たち、住宅の建築材料などとして利用に適した時期を迎えています。ただ、林業に携わる人が減っていて、これから先、森林をどうやって守り、管理していくかが課題となっています。

森林には、たくさん良い働きがあります。葉っぱは光合成によって地球温暖化の要因とされる二酸化炭素を吸収してくれます。葉っぱは光合成によって地球温暖化の要因とされる二酸化炭素を吸収してくれます。葉っぱは光合成によって地球温暖化の要因とされる二酸化炭素を吸収してくれます。葉っぱは光合成によって地球温暖化の要因とされる二酸化炭素を吸収してくれます。

森林面積割合 (2014年)

1	高知県	83.3%
2	岐阜県	79.0%
3	山梨県	77.8%
4	島根県	77.5%
5	奈良県	76.8%

※「統計でみる都道府県のすがた2021」より



森林を適切に守っていくには間伐作業が欠かせません
—上野原市桐原（いずれも2002年撮影）

〓次回は2022年1月27日に掲載します

森林面積 県土の77.8%

(2021年12月23日付 山梨日日新聞 週刊ぴっと3面)

問1

山梨県の森林面積割合はA%で全国B位。森林にはCとDの2つのタイプがあります。A~Dに入る数字、言葉は何ですか。

- A 「 % B 「 位 C 「 林 D 「 林」

問2

森林には多くの良い働きがあります。次の中で正しいものに○を付けてください。

- 「 」 地球温暖化の要因とされる二酸化炭素を吸収する
- 「 」 豊かな水を育んでくれる
- 「 」 植樹すれば1、2年で建築材として使える
- 「 」 根が張ることで土砂崩れを防ぐ
- 「 」 管理しなくても林業農家の収入増が期待できる